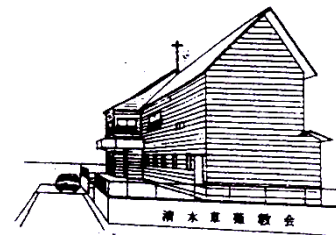


《今朝の聖書から》

“わたしについてきなさい。あなたがたを、人間をとる漁師にしてあげよう（19節）”は暗唱聖句にもよく選ばれます。弟子とされた人々が漁師だったことにかけてあわされて、魚ではなくって人ということ強調しているのでしょう。私は全く意味を感じないのですが、“聖書の中の奇跡物語”の一覧を掲げている本がたまにあります。ところがこの箇所、ペテロとアンデレ、ヤコブとヨハネを弟子として、ご自身の働きを託す者にふさわしいものとされたことは、奇跡一覧には載っていません。しかしこの箇所は実に不思議な出来事なのです。“弟子になりませんか”と呼びかけられた人たちは、おそらく宗教家でもなかったでしょうし、聖書にそんなに精通していたわけでもないし、“癒しの恵み”を直接経験していません。にもかかわらず、召しに応えました。奇跡が起こったのです。私たちの心にかつて起こったのと同じ奇跡が起こっているのではないのでしょうか。私たちは奇跡の経験者なのです。世の中には沢山の、主の救いの証があります、本になったり放送されたり、いろいろです。しかし皆さん、同じことを語っておられます。“いろいろとありましたが、そのような中で私は、信仰を持ちました”というものです。すべての救いの証はこうでしょう。ここに神様の“弟子にする力”があるのです。以前にルカ書を開いたとき“彼も一緒にいた者たちもみな、取れた魚がおびただしいのに驚いたからである（ルカ5:9）”という説明には矛盾があることをみました。“先生、今夜はどこで漁をすれば、今日のような豊漁になるのでしょうか”と続けるのならよく分かります。弟子たちは、そう言わずに、神の世界を経験したのです。聖書は教えと言っています。“悔い改めよ神の国は近づいた（マタイ4:17）”がそれです。この簡単なこと、“その時、私は主を信じました”という、誰もが持っている証は、簡単であります。大きくて基本的なことなのでしょう。“簡単なことにすぎない”という意味の“簡単なこと”ではありません。

週報

2009年 1月 18日



伝えよう 救い主を
迎えよう 主の民を

日本フリーメソジスト

清水草薙キリスト教会

牧師 村上 定幸

教会学校	毎日曜日	午前 9:00
礼拝式	毎日曜日	午前 10:30
	(聖餐式 第一日曜日)	
夕礼拝式	毎日曜日	午後 7:00
エステル公会	毎水曜日	午前 10:30
聖書研究祈祷会	毎水曜日	午後 7:00
ホームページ	http://kusanagi.church.jp/	

〒424-0885

静岡市清水区草薙杉道3丁目2-26

☎054-345-4070 E-Mail grace@big.jp